



## 目次

看護部だより	1
栄養相談室「食中毒」	2
医療安全管理室	3
ア・ラ・カルト「新任・転任者ごあいさつ」	3
お知らせ	6
患者数	6
外来医師担当表	7
特殊外来ご案内	7

発行：独立行政法人 国立病院機構 甲府病院 広報委員会  
発行責任者：長沼博文  
住所：〒400-8533 山梨県甲府市天神町11-35  
電話：055-253-6131  
ファックス：055-251-5597  
ホームページ：<http://www.kofu-hosp.com/>  
Eメール：[kofu@kofu.hosp.go.jp](mailto:kofu@kofu.hosp.go.jp)



「重症心身障害病棟・夏まつり」

去る7月29日、当院の重症心身障害病棟におきまして、毎年恒例の夏まつりが行われました。今年には天候に恵まれず、屋内での開催となったものの、「じょいそーらん ISAWA チーム MOMO華」(写真)による演舞など楽しい催し物が行われ、患者さんも職員も、地域のボランティアの皆様も一体となって、楽しい時間を過ごしました。ご協力頂いた皆様に、この場を借りて厚く御礼申し上げます。(写真・文/管理課庶務係 山田 昌弘)



## 独立行政法人国立病院機構 甲府病院の理念

### 1 基本姿勢

患者さんの目線に立ち、優しさと思いやりをもって病める人々が心を癒し、病を回復し健康を維持されるよう努めます

### 1 政策医療と地域医療

成育、重症心身障害を中心に当院で提供する全ての医療を政策医療として位置づけ、国民の健康と安全に寄与すると同時に、地域医療として山梨県民の皆様へ還元し、県民に選ばれ、お役に立てるように日々努力します

### 1 患者さんの権利

患者さんの平等で適切な医療を受ける権利、知る権利、選ぶ権利を守ります

### 1 研究と教育

全ての医療職種に貢献できる質の高い臨床研究と教育研修の推進に努めます

### 1 安定した経営

たゆまぬ意識改革を行い、独立行政法人として安定した経営を目指します

# 看護部だより

副看護部長 白川 由起子

看護部では、「甲府病院の職員として自覚と責任を持ち品位ある行動をします」という方針を上げています。また今年度の看護部の運営方針は、適切な療養環境の提供と安全な看護を提供するとしています。適切な療養環境の提供に関しては、看護部業務委員会が中心となり、身だしなみを整え接遇の向上に努める取り組みを行っています。これまでと今後の取り組み内容を紹介させていただきます。

6月は「挨拶の強化月間」としました。挨拶はコミュニケーションの始まりです。

病院組織の強さもコミュニケーションとしての挨拶が先ず大切であると考えています。

そこで

挨拶は「みずから 笑顔で 明るい声で」を標語にポスターを全部署に掲示して意識づけをしました。結果、みずから挨拶することで、相手からの好意的な反応を感じるとの意見や働く職場環境としての改善が見られています。

7月からは「接遇の強化月間」としています。おしゃれは自分のために、身だしなみは相手のためにといわれます。病院という場所、相手を考え行動することということを意識した身だしなみを一人ひとりが実践しています。

身だしなみ「見られていますよ、あなたの姿!!」この標語をポスターとして掲示し、仕事の前に鏡で髪型・ユニホーム・靴をチェックするようにしています。



9月からは、具体的な言葉遣いや対応を考えていきます。取り組みに関するご意見や、感想などがございましたらお聞かせ頂きたいと思います。そして更に適切な療養環境を提供するため努力していきたいと考えております。

# 栄養相談室

栄養管理室長 白井 敏昭

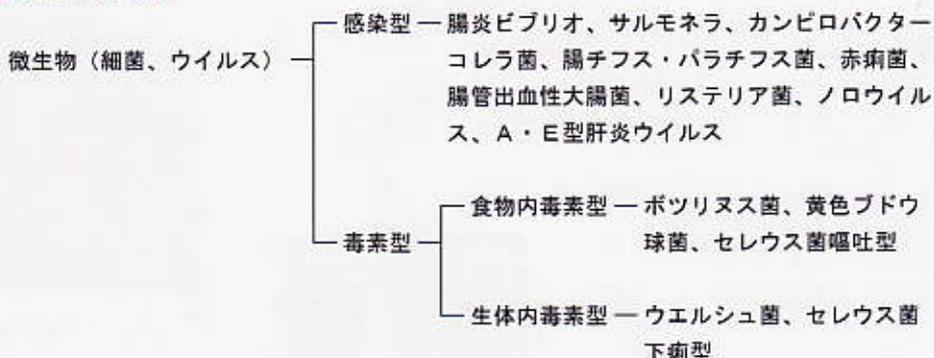
## 微生物食中毒

### 食中毒の分類

#### 症状別分類



#### 発症機序別分類



### 食中毒の発生要因

#### ★病因物質の要因

細菌性食中毒・・・食品に汚染された細菌が増殖したもの、または産生した毒素を摂取することにより発生。腸管出血性大腸菌O157O26などは少菌数でも発生する。

ブドウ球菌食中毒・・・食品中に産生された微量のエンテロトキシンを摂取することにより発生。

ノロウイルス食中毒・・・きわめて少ないウイルスを摂取することにより発症する。

#### ★宿主の要因

食中毒発生の宿主要因として、年齢、性別、栄養状態、基礎疾患の有無、食習慣の違いなどがあげられる。とくに年齢、基礎疾患の有無は発症に大きく関与し、腸管出血性大腸菌O157、リステリア、ノロウイルスなどは、乳・小児や高齢者に対して発症率が高く重症化を示す。

このほか、胃を切除した人、副腎皮質ホルモンなどを用いて治療を行っている人（免疫機能低下）などは食中毒に罹患しやすいことが知られている。

#### ★環境の要因

食中毒発生に関与する環境要因として、食習慣、衛生教育、社会環境の整備、経済状態などがあげられる。わが国では生食（刺身、寿司など）の習慣による腸炎ビブリオや食肉・食鳥肉のレバー刺身、鳥刺・たたきなどによる腸管出血性大腸菌O157やカンピロバクター食中毒が多い。このほか、ブドウ球菌食中毒では握り飯など、セレウス菌食中毒では焼き飯など米飯類によるものが多いことも特徴である。

### 食中毒の予防

食中毒の多くは、いくつかの発生要因が重なったときに発生している。

#### 細菌性食中毒の主な発生要因

- 原因菌の汚染源または病原巣が存在する。
- 原因菌が汚染源・病原巣から食品への汚染が成立する。
- 汚染した原因菌がヒトの発症菌量あるいは発症毒素量に達するまで増殖する。

食中毒を予防するには、これら要因のうちいずれかを除去または防止することである。しかし近年、ヒトへの発症菌量は少なくなっており、ヒトからヒトの感染を起こす腸管出血性大腸菌O157O26やノロウイルスなどが出現し、食品中での増殖がみられなくても一定量の汚染により、それを摂取することにより発生する。

食中毒起因菌は腐敗細菌と違って、食品中で増殖しても官能的には変化が認められず、味、におい、色などはまったく変わらない。

細菌性食中毒予防の3原則は

- ①病原菌の食品への汚染防止（つけない）**  
汚染の少ない原材料を用い衛生的に取り扱う。
- ②食品中での増殖防止（増やさない）**  
原材料および調理後の食品は長時間保存せず早く摂食する。  
冷蔵庫、冷凍庫で保存することも重要。
- ③食品を加熱（殺す）**

病原菌を死滅させて摂取することは食中毒の予防上もっとも有効であるが、刺身や魚、肉のタタキなどの未加熱または半調理食品については、衛生的取り扱いを行うことが大切である。

## 医療安全管理室より



## 医療安全への取り組み

医療安全管理係長 中田 寛子

当院では、医療安全に対する職員の意識の向上や日々の安全行動の強化のために、厚生労働省が定める医療安全推進週間（11月に実施）に加え、6月にも医療安全推進週間を設けています。

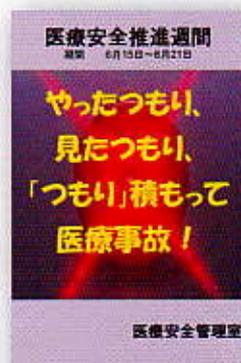
今回は確認行動の徹底を目指し、統一した標語を掲げ院内全体で取り組みを行いました。標語を全部署から公募しましたが、安全を守るために行っている日々の行動を振り返り、気を付けなければならないこと、安全を守るために必要なこと、警鐘を促すことなどさまざまな標語が寄せられ、どの標語も甲乙付けがたく選考に苦慮しました。最終的に3題の標語を選考し、それをもとに取り組みを行いました。

1. やったつもり 見たつもり 「つもり」積もって 医療事故！
2. 思い込み 気づきかけは 指と声
3. 「まっいいか」「今度」「次回」は事故のもと

標語はポスターにして全部署に掲示し、期間中は毎朝標語を唱和して業務に取り組む部署もあり、職員の意識付けにつながる事ができました。

確認行動については、各部署がその特性を踏まえ、特に強調を図りたい確認行動について計画を立て、取り組む事ができました。

病院の中では、患者さんの名前の確認、薬の確認、検査の確認、食事の確認など様々な場面で確認を必要とします。確認は、安全な医療を提供するために欠かせない行為です。医療安全週間が終了しても継続して取り組んでおります。



## アラカルト

## 新任・転任者ごあいさつ

(対象者は敬称略)



よろしくお願ひします

小児科医師 海野 杏奈

7月から勤務することになりました、海野杏奈です。小児科（4病棟）と重症心身障害病棟、小児科外来で仕事をさせて頂いて

います。

都会の空気と水が体に合わず、大学卒業と同時に出身地である山梨へ戻って仕事を始めました。これまで一般小児科と新生児医療を経験し、微力ながら地域の小児医療に貢献できることを目指しています。専門は小児腎臓病ですが、まだまだ勉強の日々です。

子どもたちの個を大切に、健やかな日常と未来へのお手伝いができればと思っています。



小児科医師 畑 園子

4月に赴任いたしました。重症心身障害病棟と神経外来、一般小児科を担当させていただいています。当初より、病院が新しく明るい印象を受けましたが、次第に患者さんやスタッフの笑顔がとても多いことに気付きました。疾患と戦うことは、簡単なことでも楽しいことでもありませんし、短期間で改善することもあれば、長期間になることもあります。しかし、患者さんやご家族の笑顔が少しでも増えるような、医療を目指したいと思っています。



産婦人科医師 高木 司

4月1日より、新しく就任しました高木 司と申します。私は、以前にも当院で勤務していたこともありましたが、今回前任医師の転勤にともない再度当院で勤務することになりました。現在、産婦人科医師の不足は深刻な社会問題になっています。ここ山梨でも例外ではありませんが、周辺地域の患者さんや、開業医の先生方からも信頼され、安心安全な医療を提供できるよう精一杯努力いたしますので、今後ともどうぞよろしく願います。



放射線技師長 平賀 亘

ご挨拶が遅れましたが、4月1日付で通算16年間勤務していた村山医療センターより昇任でまいりました平賀と申します。着任早々に私を歓迎してくれたのは、病院上階より眼に飛び込んできた雄大な富士山と目下に広がる甲府の美しい町並みの風景でした。

この美しい町で生活されている方々の健康管理のお手伝いが出来ればと考えています。

甲府病院放射線科には、大型機器も揃いMRIによる脳ドック・RIによる認知症検査・骨密度検査装置による骨粗鬆症検診・乳房撮影装置による乳癌検診などの健康管理をお手伝い出来る装置を有し、また高速CTや各エックス線撮影装置など救急対応できる機器も備えています。

是非この大型機器を地域住民の皆様方に利用し

て頂ける様に努力して行きたいと思っています。



副臨床検査技師長 久高 果市

4月1日付で横浜医療センターから甲府病院に昇任で参りました久高と申します。甲府病院は昭和61年から約12年間勤めた病院でもあり、11年ぶりに戻り大変懐かしく感じています。ただ当時とはちがい病院は新しく綺麗に建て替えられ、住んでいた宿舎は姿を消し、周辺の道路や建物も新たにできていたり、以前とはだいぶ様変わりはしていますが……赴任して3か月が過ぎ、ようやく仕事や環境にもなれ、最近やっと足が地に着いてきた感があります。どうぞよろしく願います。



## はじめまして

診療放射線技師 田中 敏博

はじめまして。7月1日より甲府病院に採用になりました田中と申します。出身は埼玉県で、こちらに来る前には国際医療センターのほうで約1年非常勤として勤務していました。はじめに甲府に転勤になると聞いたときは、どのようなところが不安はあったのですが、甲府病院は建物も新しく、周りに自然も多いので、とても良い環境だなと感じました。自分にとって二つ目の勤務病院になり、今は前の病院との機器の違いや検査の進め方の違いに戸惑う日々ですが、1日も早くこの病院の特徴を把握し、自分なりに課題を見つけ努力していきたいです。またせっかく甲府に来たので、この土地も満喫できればと思っています。

社会人として2年目であり、慣れるまでいろいろとご迷惑をかけることもあると思いますが、手厚いご指導の程よろしく願います。





薬剂科 寺田 芳弘

はじめまして。4月1日付で国立成育医療センターより転任で甲府病院の薬剂科に参りました。私は甲府生まれ甲府育ちで、お隣の附属中学校の卒業生です。

昔より新しくなった甲府病院で、毎日母校を見ながら仕事ができる事を嬉しく思います。山梨は都内と違って時間がゆっくり流れていて本当に落ち着きます。これから夏にかけてサクランボ、モモ、ブドウとたくさんのフルーツが待ち構えており楽しみです。

まだまだ経験・知識不足ですが、お薬を通じて患者さんのお役に立てるように努めて参りますので、どうぞよろしく願いいたします。



運動療法主任 中川 正之

4月1日付で、まつもと医療センター中信松本病院より昇任で参りましたリハビリテーション科運動療法主任の中川です。

私は今まで大阪・東京・西アフリカのガーナ・長崎・長野で過ごしてきました。それぞれの場所で良い出会いがあり、良い経験を得ることができました。甲府でも良い出会い・経験ができるよう仕事に趣味（山登り）にがんばりたいと思います。よろしく願いいたします。



作業療法士 小笹 祥子

今年の4月1日付けで甲府病院リハビリテーション科に赴任しました、作業療法士の小笹祥子と申します。現在リハビリテーション科には理学療法士6名、

作業療法士1名、マッサージ師1名の8名が勤務しています。作業療法とは、入浴や食事などの日常生活復帰や職場復帰など、様々な面で自立生活の支援や人生・生活・生命の質の向上をサポートしていきます。当院では重症心身障害、整形疾患、脳血管疾患の患者さんに携わっています。今後ともよろしく願いいたします。



## 転任の挨拶

経理係長 小林 正樹

4月1日に着任いたしました。山梨県での勤務は今回が初めてです。慣れないことで皆様にご迷惑をお掛けしているかと思

いますがご容赦ください。甲府の夏はじっとしているだけでも汗が噴き出し、4か月余りかなり痩せた感じがします。これから夏本番、暑さも一層厳しくなりますが、これに根を上げずに、悠々として急ぎ、甲府病院の一職員として、皆様と一緒に頑張っていく所存でありますので、どうぞよろしくお願いいたします。



療育指導室 高橋 明美

この度、茨城東病院より異動して参りました療育指導室主任保育士 高橋と申します。

当病院の歴史の重みを尊重する中で、常に新鮮な風を通し、互いに微笑み合えるような人との繋がりを大切にしたいと考えております。利用者お一人お一人にとってより良い支援ができるよう精一杯努めて参ります。どうぞよろしく願いいたします。



## 新任のご挨拶

栄養管理室 里見 麻希子

初めまして。5月1日付で甲府病院に採用となりました里見麻希子と申します。以前は国立がんセンター中央病院で非常勤

栄養士として勤務していました。あっという間に2か月が経ち、甲府での生活にも慣れてきました。院内では、ふと窓から見える景色に癒されています。また美味しい果物がたくさんあり、それらを食べることも楽しみの一つとなっています。

栄養管理室では患者さんお一人お一人に合った食事を提供し、また楽しんでいただけるよう頑張っています。私はまだまだ未熟ですが、ここで多くのことを学び吸収していきたいと思

## お 知 ら せ

## 重症心身障害病棟 「21年度 ふれあい大運動会」

H21年10月7日(水) 13:00~15:30まで、重症心身障害病棟グラウンドで「平成21年度ふれあい大運動会」が行なわれます。重症心身障害病棟の患者さん120名が、はりきって秋の清々しい気候の中、体を動かします。笑いや感動があります。よろしかったら、見に来て下さい!!



昨年の様子

## 花壇の整備を行いました



患者さんのアメニティの向上を目指し、少しでも潤いのある入院・通院生活に貢献したいと願って昨年度より活動が始まった「院内緑化推進チーム」。

今年も昨年に引き続き、病院外周の花壇の整備を行いました。

今回は当院の職員に加え、環境整備のボランティアの皆様も加わり、色とりどりの花を植えていきました。

これからの暑い季節、是非“潤い”を感じてみてください。

## 平成21年度一日平均患者数

## 入院

※7月分及び年度累計は7月末日現在 (小数点以下第2位は四捨五入)

種別	月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
一般		91.9	74.6	90.2	81.2									84.5
重心		120.2	120.0	121.3	120.5									120.5
計		212.1	194.6	211.4	201.7									205.0

## 外来

※7月分及び年度累計は7月末日現在 (小数点以下第2位は四捨五入)

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
	238.7	264.0	233.5	248.5									244.6

# 外来医師担当表

平成21年8月1日現在

		月	火	水	木	金
内科	1	渡 邊	渡 邊	渡 邊	渡 邊	渡 邊
	2	黒 澤	黒 澤	黒 澤	呼吸器科 菱山	黒 澤
	3	循環器科 佐野				中 尾 川 口
	4					
脳神経外科		長 沼	長 沼			長 沼
特殊外来 午後3時～				渡 邊		
消化器科		稲 岡	稲 岡	大 塚	肝臓専門外来 鈴木	
小児科	1	畑・神谷	神 谷	海 野	畑	中 村
	専門外来(午後)	畑	中 村	神 谷	海 野	
	摂食外来(午後)				第3週 小野	
外科		鈴 木	角 田	牧	鈴 木	角 田
					乳腺外来 高橋	
整形外科 (スポーツ・障害患治療センター)	1	萩 野	渡 邊	渡 邊	萩 野	萩 野
	2	千 賀	落 合	落 合	落 合	千 賀
	3					
泌尿器科		野 澤	野澤 <small>予約のみ 10時迄</small>	野 澤	野 澤	野 澤
産婦人科	1	滝 澤	雨 宮	滝 澤	雨 宮	高 木
	2	雨 宮	高 木	山梨大医師	高 木	滝 澤
	3					
眼科		地場 <small>予約のみ</small>	地 場	地 場		
耳鼻咽喉科					矢 崎	

●受付時間 初診/午前8時30分～午前11時00分 再診/午前8時20分～午前11時00分(再診で予約を取られている方は予約時間まで)  
 ※乳児健診 毎週 火・木曜日(完全予約制) ※人間ドック 毎週 火・木曜日 脳ドック 毎週 月・火曜日  
 ※予防接種(小児科) 隔週 金曜日(完全予約制) ※毎月第4金曜日 糖尿病教室 黒澤医師

## 特殊外来ご案内

- ・「乳腺外来」については、毎週木曜日の午前中に行っています。乳房にしこりなどの異常を感じたら、すぐに受診されることをお勧めします。
- ・「肝臓専門外来」については、毎週金曜日の午前中に行っています。肝機能が低下したと感じたら、受診されることをお勧めします。
- ・「物忘れ外来」については、脳神経外科で行っています。認知かなと思ったら、受診されることをお勧めします。

## 看護職員募集 随時行って おります

当院ホームページより「受験願書」「採用希望施設票」をダウンロードの上、当院管理課人事担当宛にお送り下さい。折り返しご相談をさせていただきます。



宛先および照会先

〒400-8533  
 山梨県甲府市天神町11番35号  
 国立病院機構甲府病院  
 管理課 人事係  
 電話 055-253-6131(代表)